

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

【評価実施概要】

事業所番号	4570102899
法人名	有限会社ライフサービス宮崎
事業所名	グループホームだんらん
所在地	宮崎市大島町国草136-3 (電話) 0985-28-0900
評価機関名	宮崎県医師会サービス評価事務局
所在地	宮崎県宮崎市和知川原1丁目101
訪問調査日	平成 22 年 3 月 2 日

【情報提供票より】(22年2月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 7 月 15 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 4 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 4.75 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 階建ての 階 ~ 1 階部分
------	------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(2月15日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	6 名	要介護2	1 名		
要介護3	1 名	要介護4			
要介護5		要支援2	1 名		
年齢	平均 85.2 歳	最低	76 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	こざわ内科 ひがし歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は宮崎市東部に位置し近くに公道が通り大型スーパー等もあり利便性の良い閑静な場所に位置している。木造平屋建てのホームは、間取りもゆったりとして採光も良く庭には利用者と職員と一緒に植えた花や野菜が植えられどこにでも見られる家庭の雰囲気のなかで、利用者は和気あいあいとおしゃべりに花を咲かせ笑顔で元気に過ごしている。また、干し柿や干し大根など昔取った杵柄を職員に教え職員は利用者から教えるを請い楽しく生活している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題、運営推進会議を活かした取り組み・市町村との連携・職員の異動による影響への配慮・重度化や終末期に向けた方針の共有・食事を楽しむことのできる支援・災害対策については改善計画シートを作成し管理者と職員で話し合い、改善の取り組みを行なっている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	運営者、管理者、職員は自己評価、外部評価の意義とねらいについて話し合い各自で分担して取り組んでいる。前回の改善課題について改善計画シートを作成し話し合い具体的な改善に向けて積極的に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は地区の自治会長、役員、子ども会役員、民生委員、消防団員、家族会会長、地域包括支援センター職員、事業所の代表及び管理者、職員のメンバーで3か月に1回開催され議事録に残している。出された意見について検討しサービスの質向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	毎月ホーム便り『だんらん』を発行し利用者の暮らしぶりや健康状態、行事の案内、職員の異動など報告している。また家族会を設置して家族が意見や意向、苦情を言いやすいように家族とのコミュニケーションを大切にしている。出された意見や要望について、職員会議の中で検討し運営に反映させている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	事業所は地区の自治会に加入し地域の行事や活動に、利用者は職員と一緒に参加している。また、事業所の花見や運動会などを計画し、地区の住民に参加をしてもらったり、ボランティアを受け入れるなど地域の人々と交流することに努めている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で自分らしく生きていけるように「自立支援」「症状の緩和」「日常生活の自立」を事業所独自の理念としてホームの見やすい場所に掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は毎日のミーティングや職員会議の中で理念について共有しケアプランのなかに取り込み理念の実現に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の自治会に加入し地域の行事や活動に参加している。また、事業所の花見や運動会を計画し地区の住民に参加してもらったり、ボランティアを受け入れるなど地区の人々と交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者と職員は自己評価、外部評価の意義とねらいについて話し合い各自で分担して取り組んでいる。前回の改善課題について改善計画シートを作成し話し合い具体的な改善に向けて取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は3か月に1回、地区自治会長、役員、子供会役員、民生委員、消防団員、家族会会長、地域包括支援センター職員、事業所代表者と管理者、職員のメンバーで開催し会議の内容は議事録に残している。出された意見をサービスの向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村主催の勉強会への参加や介護相談員の受け入れ、包括支援センターとの交流にも積極的に努めサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月『だんらん通信』を作成し利用者の暮らしぶりや健康状態、職員の異動などについて報告している。また、家族の面会時には、必ず利用者の状況を伝えるようにしている。金銭管理について定期的に家族に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が意見や苦情を言いやすいように家族とのコミュニケーションを大事にしている。家族会を設置し、そこで出された意見や要望について職員会議の中で検討し運営に反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は職員の異動による利用者への影響を十分に理解しており、離職を最小限にする努力をしている。異動のある場合は利用者にも前もって伝えダメージを与えない配慮をしている。『だんらん』通信で紹介し家族にも報告している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員を段階に応じて育成するため計画的に事業所内外の研修会に参加の機会を設けている。受講者は研修復命書で報告し、他の職員にも伝達し、職員の質の向上を目指している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設との相互訪問や歯科衛生士による口腔ケアの勉強会を取り入れたりと、地域の同業者と積極的に交流する機会を持ちサービスの質を向上させていく取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前に職員が入院先に面会に行ったり、事業所に何度かお茶のみに来ていただくなど、職員や他の利用者とも顔なじみの関係になってからの利用となるように、家族と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の残存能力を發揮してもらえるように、カレンダーの日めくり、野菜や花の植え付け、干し柿作り、いかん手(干し大根)、おせち料理など等、職員は利用者から学んだり支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	管理者と職員は利用者の意向を尊重したサービスを実施していくために、「5分間トーク」の時間を設け、利用者の思いや意向、暮らし方の把握に努め利用者本意に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本意の介護計画を、本人、家族と、職員で十分に話し合い作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月に1回の見直しと状態に変化のある時はその都度の見直しを行っている。本人と家族の意向を充分に取り入れた計画である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の要望でかかりつけ医の受診の送迎や家族の希望時の宿泊など柔軟な対応をしている。また、利用者の希望で運動会を計画し家族や地域住民の参加を呼びかけ盛大に行い利用者、家族、地域の人々にも大変喜ばれるなど多機能性を活かした支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の意向を大切に、かかりつけ医の医療が受けられるように支援している。また、事業所での生活ぶりや状態についてもサマリーを送るなどかかりつけ医と事業所の関係を築きながら適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応方針について早期から利用者の家族とかかりつけ医や、協力医療機関の医師との話し合いがされ取り決めされている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの個人を尊重した言葉掛けを行い職員は笑顔で対応がなされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「5分間トーク」ではマンツーマンでじっくりと利用者の思いや言いたいこと、したいことを把握し10時と15時のお茶の時間の会話の中からその日したいことを引き出して希望に沿って利用者本位に支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員は手作りのいかんて(干し大根)をつくり職員が調理したものを「この前作ったいかんで美味しい」と共通話題で職員と一緒に同じテーブルを囲んで楽しく食事をし、テーブル拭きなどの後片付けも一緒にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴をしているが利用者の希望にそうように毎日の入浴にも対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や持っている力に合わせて庭仕事、カレンダーの日めくり、食事の挨拶、後片付けなど役割、気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には近所の散歩をしたり買い物の希望がある時は買い物に出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者、職員は鍵を掛けることの弊害を理解しており、居室や玄関、庭、鍵をかけないケアを実践している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時のマニュアルを作成し年1回の防災訓練を地域の住民の協力により実施されている。訓練時の反省会の中で出された「誰が利用者かわからない」という意見に対して、職員は名前をエプロンに常時付けることを改善し実施している。また、職員は日頃からの災害に対する意識も高く次年度は年2回の訓練を予定している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量、水分摂取量を把握し便通に良い食材を取り入れ、栄養バランスを考えた食事の工夫がされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは広々として採光も良くバリアフリーの畳の間にはお雛様の置物や、要所に生花が飾られてソファ・テレビなどが置かれ居心地良く過ごせるように工夫されている。キッチンからは煮炊きの美味しい香りが漂い利用者は思い思いにくつろいでいる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者の使い慣れた馴染みの家具や小物、仏壇などが持ち込まれ居心地良く過ごせるように配慮されている。		